

## 放射線科研修プログラム

### I 一般目標 (GIO)

放射線診断の基礎を学習し画像診断をとおして患者の病態把握能力を養い、的確な検査法を選択して疾患を鑑別する方法を身につける。

### II 行動目標 (GBO)

- \* 実際に所見を記載し、重要な情報を効率よく指摘し、簡潔に伝えることができる。
- \* 各画像診断装置の基本的な原理、適応を理解し説明できる。
- \* 造影剤の使用法、副作用の内容、対処法を説明できる。
- \* IVR 治療の基礎を理解し、適切な治療選択ができる。
- \* 院内他科とのカンファレンスに参加し、的確なプレゼンテーションができる。

### III 方略 (LS)

- \* 自己学習で画像診断に必要な正常解剖を把握する。
- \* 解剖に基づき正常像を観察し、異常像のポイントを理解する。
- \* 過去の所見を見て、所見の記載法を学ぶ。
- \* 記載した所見は指導医の添削を受け、積極的に質問する。
- \* 各種検査の撮影に立ち会い、技師とともに撮影を計画し、有用性と限界を把握する。
- \* IVR 治療の助手をつとめ、指導医のもとで実際の手技を経験する。
- \* 指導医がカンファレンスのテーマを決め、指導する。
- \* 副作用発生時に指導医とともに治療にあたる。